

## 絵描き歌を利用した情報の授業

大阪府立桃谷高等学校  
野部 緑



## 桃谷高等学校の紹介

- 多部制単位制
  - 大学のように、自分で時間割をきめる。
  - 必履修を満たし、74単位で卒業
  - 情報を学ぶ時期は決まっていない
- 前後期制
  - 2単位の情報は週4時間実施。
  - 半年で単位認定。



## 授業のありかたとして

- 理解も大事だが
  - まず興味・関心を持ってもらう
  - そこから、理解につなげる
- 興味関心のために
  - 体験をする
  - 生徒自身の活動
  - 身近な素材を利用する



## 今までの実践例

- 情報B
  - マジカルスプーン
  - ドリトルと音楽
  - CSアンプラグド
- 総合的な学習の時間
  - なりすましチャット
  - ビュートレイサー
- 情報A
  - 情報モラル絵本



## 教科書の内容

- 1章 情報の活用とコンピュータ
  - 1. 情報社会と情報の表現
    - 1 あふれる情報
    - 2 わかりやすい情報伝達
    - 3 チラシを分析してみよう
    - 4 わかりやすい情報伝達のために
  - 2. 問題解決の工夫
    - 1 問題を解決するには
    - 2 楽しい遠足計画を立てよう
  - 3. 情報の伝達
    - 1 企画書の作成
    - 2 コンピュータを利用した情報伝達



## 問題解決における身近な例

- バイトを探すのはどうする？
  - 生徒の答え
  - タウンワークス
  - ケータイ
  - 友達にきく
- それぞれの違いを考える
  - 条件を探すには？
  - 見比べるのは
  - 信頼できるのは？



## 情報って何？ 情報伝達って？



- まず、生徒は情報の授業＝パソコン操作と思っている。
- ということは、ここで使われている情報の意味が理解できていない？
- ついでに、問題解決における遠足計画
  - 遠足がない(身近ではない)

## 情報伝達の工夫



- 視覚的工夫の効果を考えるために
- お絵描き歌を利用
- 1回目の授業
- 4限目18名、6限目12名を対象
- 授業の内容
  - 歌詞だけで絵を描かせてみる
  - 実際に絵を見て書いてみる

## 1回目の授業の様子



- ろくって何？
- えー全然わからん
- お絵描き歌って情報なん？
  - (何かを伝えるってことは、情報なの)
- ヒントないの？
  - (2回目の授業に反映)

## 感想



- 当然ですが……絵があったほうが描きやすい
- 文字だけでは伝わらないけれど、絵があると正確
- 絵描き歌って歌詞だけでは書けないんですね
- 情報を伝えるには見せることも大事
- 絵がないほうが想像力がはたらく
- 想像で描いたら全然ちがったけれど、それもまたおもしろい

## 授業の反省と工夫



- 書かせる回数を3回にした
  - 歌詞のみ
  - 歌詞＋ヒント
    - 最初の○3つは鼻
    - 次の○3つは顔
    - 次は、口と耳
    - ろくろくは、手足……
  - 絵を見せる

## 2回目の感想



- 文字だけだとわからなかったけれど、ヒントがあると少しわかった。  
文字で絵を伝えようと思うと、いろいろと情報がたくさんないとだめですね
- 絵だと1回でわかることが、文字だけだと難しい
- 文字だけだといろいろ想像して考えることができるけれど、正確に伝えようと思うと、絵などの工夫がいると思った。
- いろいろなものを組み合わせることで、伝えることができるんだと思いました。

## 考えられる授業の方法



- これだけなら、あまりにも簡単なので
- 絵描き歌を生徒自身がつくる
- イラストを説明する。
- 絵による伝言ゲーム
- 情報伝達だけなら、絵にこだわらなくてもいい

## まとめ



- ある程度予想していた結果
- 情報伝達の工夫についての体験材料としては成功か
- やり方にはもう少し工夫がいる
  - 時間配分
  - ヒントの与え方
  - 見せ方(聞かせ方)